

県社協理事会・評議員会を開催 ー平成26年度事業計画など決まるー



【評議員会の様子】

3月14日(金)に第2回理事会、3月20日(木)に第2回評議員会を、県総合福祉センターで開催し、平成25年度第二次収支補正予算、平成26年度事業計画及び収支予算等が審議され、承認されました。

本年度は、以下の重点推進項目を中心に事業を実施します。

- ①「第三次県社協総合計画21世紀ビジョン」最終年度の取り組みの推進及び「第四次総合計画」の策定
- ②県民の参加・協力による地域福祉活動の推進、市町村社協による地域の福祉課題等への取り組みの支援
- ③福祉教育プログラムの普及、「市町村災害ボランティアセンターマニュアル」の活用・普及及び市町村社協における取り組みの支援
- ④地域福祉権利擁護事業の一層の充実、成年後見制度の周知や法人後見への取り組みの支援
- ⑤生活福祉資金貸付事業の推進による対象世帯の自立支援
- ⑥「福祉・介護・保育」分野における質の高い人材のマッチング、人材育成に関する諸事業の展開
- ⑦社会福祉法人に求められる地域貢献活動に向けた取り組みの推進及び社会福祉法人への経営支援
- ⑧社会福祉振興基金の活用による民間福祉団体等への支援、福田令寿人材育成基金による福祉専門職の育成
- ⑨県福祉サービス運営適正化委員会の活動と体制整備の推進

なお、坂口健一前副会長の辞任に伴い、小笠原嘉祐理事(県社会福祉法人経営者協議会会長)が新たに副会長に選任されました。

また、欠員のあった2名の理事と3名の評議員が選任されました。新理事及び新評議員は次のとおりです。

◆理事〈任期：平成26年4月1日～平成26年11月23日〉 (敬省略)

新	所属・役職名	前
宮本 武夫	熊本県民生委員児童委員協議会 会長	坂口 健一
沖田 昌史	熊本県保育協議会 会長	國友 龍

◆評議員〈任期：平成26年4月1日～平成26年10月31日〉 (敬省略)

新	所属・役職名	前
季平 聖也	熊本県民生委員児童委員協議会 副会長	山部 謙一郎
井上 篤子	熊本県民生委員児童委員協議会 副会長	羽室 アツミ
藤好 清隆	熊本経済同友会 事務局長	山野 陽一

社会福祉法人のコンプライアンスを学ぶ ～社会福祉法人法令関係研修会を開催～

3月7日(金)、ホテル熊本テルサで「平成25年度 社会福祉法人法令関係研修会」を開催し、社会福祉法人の役員、施設長、事務担当者等257名が参加しました。

本研修会では、まず、県健康福祉部長寿社会局社会福祉課の西山課長補佐より行政説明をいただき、続いて福岡県弁護士会所属の篠木 潔弁護士より『社会福祉法人のコンプライアンスと利用者の権利擁護』と題した基調講演が行われました。

コンプライアンスとは何か?という切り口で始まった講演は、今まで知っているようで、実は全く認識が足りていなかったということをもぎまぎと実感させられる内容で、参加者の深い関心を呼んでいました。

また、篠木弁護士の軽快なトークとその飾らない人柄が参加者の心を驚掴みしたようで、多くの参加者から“もっと続きを聞きたい”など高い評価をいただきました。



【講師の篠木弁護士】

ボランティア保険の加入促進をめざして - 市町村ボランティアセンター機能強化課題別研究会 -

3月13日(木)、県総合福祉センターで「ボランティア保険の効果的な取り扱いについて考える」をテーマに、市町村ボランティアセンター機能強化課題別研究会を開催し、市町村社協のボランティアコーディネーター等26名が参加しました。

研究会では、㈱福祉保険サービスからボランティア保険の事務取り扱いについての説明のあと、研究協議として、社協がボランティア保険への加入を推奨する意味や保険加入対象者の考え方、大規模災害時のボランティア活動保険の取り扱い方法などについて意見交換を行いました。



【㈱福祉保険サービス】



【事務説明】

参加者からは、「今まで事務的に保険の加入手続きをしていたが、ボランティアの方々が安心して活動できるよう、できる限り加入できるような対応を考えたい」との感想も寄せられました。

また、「ボランティア保険によってボランティア活動の安心や安全が担保され、活動への参加につながることを再認識した」との意見もあり、活動推進の柱の一つとして、ボランティア保険の加入促進に取り組んでいくことが再確認された研究会となりました。

福祉のお仕事巡回相談をご活用ください

熊本県福祉人材・研修センターでは、福祉・介護分野への就業を希望する求職者の相談を受け付け、情報提供等を行う「福祉のお仕事相談窓口」を開設しています。各相談窓口開設場所、日程、時間は次のとおりです。お気軽にお立ち寄りください。なお、求人事業所からのご相談も受け付けます。

場 所	曜 日	時 間	場 所	曜 日	時 間
ハローワーク上益城	第1火曜日	9:30~16:00	ハローワーク球 磨	第2、第4火曜日	10:30~15:30
ハローワーク八 代	第3火曜日	10:00~16:00	ハローワーク宇 城	第1、第3水曜日	9:30~16:00
ハローワーク菊 池	第2、第4水曜日	10:00~16:00	ハローワーク阿 蘇	第1、第3水曜日	10:30~16:00
ハローワーク玉 名	第2、第4水曜日	10:30~16:00	ハローワーク水 俣	第2、第4火曜日	10:30~15:00
ハローワーク天 草	第1、第3木曜日	10:30~15:00	※相談日が祝日等に当たる場合は、事前にご確認ください。		

株式会社テレビ熊本様から寄付金をいただきました



【寄付贈呈式】

3月11日(火)、株式会社テレビ熊本様から本年も寄付金をいただきました。これまで昭和47年から毎年寄付金をいただいております。今回で43回目となります。(寄付金総額3,184万円)

ご寄付いただきました浄財は、社会福祉振興基金事業に積み立て、民間福祉団体やボランティア活動支援、社会福祉事業の振興などに有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。

事務局職員人事異動のお知らせ

氏 名	異動後所属及び職名		異動前所属及び職名	
上田 誠也	事務局長 福祉サービス運営適正化委員会	事務局長	事務局長	
西 俊也	施設福祉課	課長	施設福祉課 福祉サービス運営適正化委員会	課長 事務局長
津地 由紀子	民生課	課長	地域福祉権利擁護センター	所長
米田 進	地域福祉権利擁護センター 福祉サービス運営適正化委員会	所長 事務局次長	民生課	課長
桂 誠一	総務課	課長補佐	合志市社協(出向) 地域福祉課	事務局次長 課長(兼)
田中 智弘	合志市社協		県民福祉課 (合志市社協から出向)	課長補佐
藤本 武司	菊陽町社協(出向) 地域福祉係	事務局次長 係長(兼)	総務課	課長補佐
玉城 清志	県民福祉課 (菊陽町社協から出向)	課長補佐	菊陽町社協 総務係兼在宅支援係	係長
山下 耕二	民生課	主事	新規採用	
上原 祐次郎	県民福祉課	主事	新規採用	

各課トピックス

* お問い合わせは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済事業の「基準給与算定基礎届」提出について◆</p> <p>本事業の拠出金算定の基礎となる基準給与は、加入者の毎年4月1日の本給(「基本格付本俸」給与特別改善費「特殊業務手当」)に基づいた金額です。その年の4月から翌年3月まで適用されます。加入事業所は、4月1日の在籍加入者に係る基準給与月額を、「基準給与算定基礎届」により、4月3日までに県社協へ届出なければなりません。未提出の加入事業所様は至急ご提出をお願いします。</p>	<p>◆市町村社協広報誌コンクールを実施しました◆</p> <p>県市町村社協連合会では、標記コンクールを実施し、最優秀賞に西原村社協が発行する「のぎく荘だより」が選ばれました。このコンクールは、各市町村社協における広報活動の向上を図るために実施したもので、各社協で発行する広報誌19点の応募がありました。最優秀賞以外の受賞社協は次のとおりです。</p> <p>優秀賞2点：南阿蘇村社協、多良木町社協 奨励賞3点：天草市社協、芦北町社協、玉東町社協</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆ソウェルクラブ新規会員募集のご案内◆</p> <p>ソウェルクラブでは、平成26年度の新規会員を募集しています。</p> <p>平成24年10月から、全国会員22万人に対して新たな優待サービス「クラブオフ」をスタートし、サービスの拡大を図っています。さらに、県内の会員にはグルメイベントや野球観戦など、盛りだくさんの企画を廉価でご参加いただけるよう計画中です。</p> <p>詳細については、施設福祉課までお問い合わせください。</p>	<p>◆高校生の授業料滞納に教育支援資金を貸付けます◆</p> <p>経済的な理由などで高校の授業料等を滞納し、卒業や進級が困難な高校生が属する世帯に、教育支援資金を貸し付けています。これは、月額3万5千円を上限として、滞納した期間分の授業料など学校に納める費用を貸し付けるものです(育英資金を既に借入の場合、不足する差額分が対象)。受付は1～2年次は随時、3年次は卒業年度の2月末までに全ての書類が本会に到着した申込みが対象です。相談及び受付窓口は各市町村社協となります。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-355-5440
<p>◆平成26年度も継続のアドバイザー派遣事業、職場体験事業をご活用ください◆</p> <p>アドバイザー派遣事業は、働きやすい職場づくりや就労・定着の支援を目的とし、社会保険労務士、公認会計士、中小企業診断士、弁護士の専門家を無料で派遣します。また、職場体験事業は、福祉・介護分野に興味を持つ人や就職を希望する方に、職場体験を通して福祉職場への理解を深めてもらい、就職や従事者の定着を促進することを目的としていますので、ご相談ください。</p>	<p>◆市町村社協への助成金について◆</p> <p>①生活支援員養成研修開催支援助成金 利用者へ直接支援を行う生活支援員の確保と養成を図るための研修を実施するための助成を行う。 助成金額：上限額5万円×5箇所</p> <p>②成年後見センター等体制整備(助成)事業 成年後見制度の利用促進や法人として後見人を受任するための体制整備を実施するための助成を行う。 助成金額：上限額30万円×5箇所 ※詳細については、当センターへお問い合わせください。</p>
ボランティアセンター	ご案内
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	<p>◆社会福祉事業振興資金貸付制度のご案内◆</p> <p>本制度は、県内で社会福祉事業を行う社会福祉法人等に対し、社会福祉施設の整備資金や運営資金を融資し、経営を財政面から支援する事業です。</p> <p>【貸付内容】</p> <p>○整備資金 新築、増築、改築、土地取得、災害復旧に要する資金等 限度額：1,500万円以内</p> <p>○運営資金 施設経営に要する資金等 限度額：200万円以内</p> <p>貸付利率、償還期間や提出書類など、制度の詳細な内容については施設福祉課までお問い合わせください。</p>
<p>◆新作DVDレンタル開始◆</p> <p>タイトル 『災害時要援護者の支援 ～ともに生きのびるための自助・共助～』</p> <p>内容 東日本大震災の教訓を踏まえ、要援護者自身の自助、周囲の人々の共助のあり方を改めてみつめ直すための市民向け啓発教材です。</p> <p>レンタル方法は、こちらのホームページから。</p> <p>熊本県ボランティアセンター 検索</p>	